

第67回 消防団員の命を守る

災害対応 見直し進む

愛知・三重・静岡の自治体

本紙が愛知、三重、静岡県で沿岸部の市町村にアンケートをしたところ、東日本大震災以降、各地で消防団の見直しが進んでいることが分かった。東海地方で百五十人もの消防団員が犠牲となった悲劇を繰り返さないための取り組みが進んでいる。

団員不足が共通の悩み

愛知県豊田市は、必要とされる市町村に比べて、団員数が少ない。また、三重県鈴鹿市は、団員数が減少している。また、三重県津市は、団員数が減少している。また、三重県津市は、団員数が減少している。また、三重県津市は、団員数が減少している。



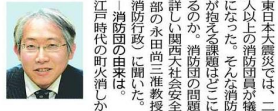
津波到達直前に仲間と活動した交差点に立ち、当時を振り返る菊池一男さん。背後には更地が広がる。岩手県陸前高田市で

親も仲間も救えなかった

岩手・陸前高田の団員



東北の被災地では、がけ崩れや津波の到達前に消防団員も必ず避難するルールが各地で生れつつある。岩手県陸前高田市の消防団員も、津波の到達前に消防団員も必ず避難するルールが各地で生れつつある。



江戸時代の町火消しが、消防団の原点。(消防団) 愛知大

関西大社会安全学部 永田尚三准教授に聞く

知識向上へ専従者必要 戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。知識向上へ専従者必要。戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。

Table listing fire districts and their status: 愛知県 (Aichi Prefecture), 三重県 (Mie Prefecture), 静岡県 (Shizuoka Prefecture). Columns include location, population, and fire district details.

知識向上へ専従者必要 戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。知識向上へ専従者必要。戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。

知識向上へ専従者必要 戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。知識向上へ専従者必要。戦後多くなった。戦後は行方不明者が十五年の間に二〇〇〇人ほどに達した。